

◆ 自社の特長・強み・実績

- 町内では 643haの農地が存在し、約9割を水稲が占めています。そのほか、ミニトマト、**キャベツ**、白ネギ、菌床シイタケなどを栽培、中でも施設園芸としてミニトマト栽培を推進しています。
- 岡山県有力生産者(株)青空とタイアップし、夏採りキャベツ栽培を開始、町外有力生産者の産地分散戦略に合流することで、販売力不足・物流問題を解消（加工食向け）を目指しています。
- 美郷町の夏取りキャベツは、夜間の気温が夏でも25度以下となることから、2024年度から栽培を開始しています。1年目は40aで4品種のキャベツを試験的に栽培し、その中で最も適している品種を選定。2年目となる今年度は1品種に限定し、栽培面積を2haに拡大しています。



・キャベツほ場と貯蔵施設



・町が整備したリースハウス

◆ 交流会参加の目的

- 本町は「長期視点（耕作放棄地対策～産地化～ゾーニング）」と「地域計画」が基本です。地域内農業への危機感が高く、民間にはない地域の詳細情報や分厚い補助事業などの活用手法には長けています。
- 中山間地域である当町では農業をビジネスとして考える経営者は少ないので民間企業との連携には関心が強く、**長期で相互補完できる関係構築を望んでいます。**
- 約10年前に露地栽培よりも収益性が高い施設園芸（ハウス）に着目し、近年も健康志向の高まりや包丁不要で食べられる簡単さ、中食用の飾りなどのニーズから安定的な需要を維持するミニトマトの栽培を推進しており、**新たな需要を開拓しています。**